

【台湾】

7-8月の市場動向トピックス

- 2021年7月の訪日台湾人数は、2019年同月比99.9%減の600人であった。
- 2021年8月の訪日台湾人数は、2019年同月比99.9%減の400人であった。
- 7-8月も、COVID-19の拡大により、訪日者数はコロナ禍以前の2019年同月を大幅に下回った。日本政府による査証免除措置停止の対象となっており観光渡航はできない状況。上陸時にはPCR検査が求められる。国際的な人の往来再開に向けた段階的措置として、2020年9月8日から「レジデンストラック」が運用されていたが、2021年1月14日以降運用が停止されている。
- 台湾域内での拡大を受け、5月中旬より第3級となっていたコロナ警戒レベル(4段階中4が最も厳格)は、感染者数の減少に伴い7月末に第2級に引き下げ。外出時常時マスク着用(飲食時を除く)、実名登録制といった措置は継続となるものの、域内団体旅行人数や集会人数の上限が引き上げられるなど、段階的に規制緩和が進んでいる。

7-8月の主なプロモーション活動

● SNSでの情報発信

将来の訪日意欲喚起のため、FacebookとInstagramで毎日情報を発信。自然や鉄道、アート性の高いコンテンツの人気傾向が見られた。

<Facebookにおける人気投稿>

*『山形県の大自然を象徴する、県内最高峰の「鳥海山」』(リーチ数 14.7万/いいね 3,500)

7-8月投稿においてリーチ数・エンゲージメント率(いいね、シェア等の反応率)ともにトップに。

*『台湾を愛し愛された喜劇王、志村けんさんの銅像がある西武新宿線東村山駅』(リーチ数 11.6万/いいね 2,200)

東村山駅に設置された、台湾でも人気の高い故・志村けん氏の銅像と、北山公園で楽しめる花菖蒲を紹介。

ユーザーからは同氏を偲ぶコメントや、銅像を拝みに日本を訪問したいという声が寄せられた。

*『目でも舌でも楽しめる、食べられる芸術「田んぼアート」』(リーチ数 9.7万/いいね 1,400)

埼玉県行田市にある世界最大の田んぼアートを掲載。同市のSDGsへの取り組みも紹介した。



(7/12 山形県の鳥海山)



(7/2 故・志村けん氏の銅像)



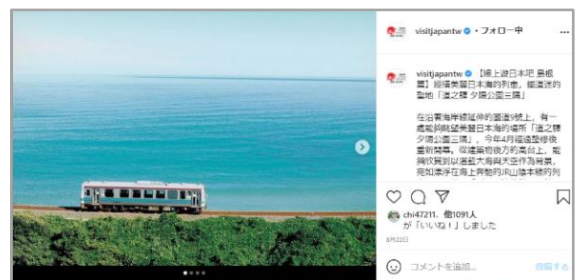
(8/25 埼玉県行田市田んぼアート)

<Instagramにおける人気投稿>

*『美しい日本海を背景に鉄道が走り抜ける、鉄道ファンの聖地

「道の駅 ゆうひパーク三隅」』

ユーザーの反応が最も高かった投稿は、山陰線の鉄道の風景(インプレッション数:約2万、エンゲージメント率 7.7%)。千と千尋の神隠しのワンシーンを想起させられるというコメントも寄せられた。



(8/22 山陰線の鉄道の風景)